

企業内システムとMedidata Clinical Cloudの連携によるアカウント管理の一元化

- シングルサインオン連携サービス -

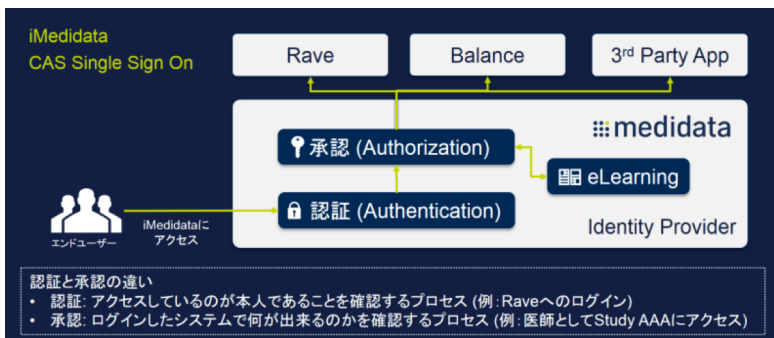
Medidata製品のユーザは、iMedidataにログインすることで各ユーザがアクセス権を持つ全てのMedidata製品にアクセスすることが出来ます。また、複数のスポンサーが実施している臨床試験あるいは製造販売後調査を担当する施設ユーザは、スポンサーやアクセスするURL、スポンサー毎に設定されたIDとパスワードの別を意識することなく、自身の担当する全ての臨床試験・製造販売後調査にアクセスすることが可能です。

Medidataシングルサインオン連携サービスは、この仕組みをさらに拡張し、各企業の社内システム（イントラネット）とiMedidataのアカウント管理を連携し、イントラネットからiMedidataへのシームレスなアクセスを実現します。

アカウント連携のメリット

Medidata Clinical Cloud製シングルサインオン連携サービスを利用することで、ユーザは以下のメリットを得ることが出来ます。

- ・ 社内システムのユーザIDとパスワードを利用してiMedidataにログインが可能
- ・ 管理対象のID/パスワード数の削減が可能
- ・ 社内システムのアカウント管理ポリシーをそのまま利用可能



プロセスの標準化とサポートにより短期間で導入可能

シングルサインオン連携サービスは、導入プロセスが標準化されているため短期間での導入が可能です。導入に当たっては、弊社の担当者が導入スケジュールの管理、技術サポート、関連部門との調整等、導入に必要な全ての作業をサポート致します。



Medidataおよびここで使用されている他の商標はMedidata Solutions, Inc.の商標です。その他の商標は各社に帰属します。

Copyright © 2017 Medidata Solutions, Inc.

導入実績

2017年3月時点で、14社のグローバル企業のお客様にSSO連携サービスをご利用いただいております。現在も利用社数は増加しています。

導入事例

A社は社内内で使用される業務システムへのアクセスにサードパーティベンダーが提供しているクラウドベースのシングルサインオンシステムを使っており、クラウド上で提供されている業務アプリケーション、社内にホストされている業務アプリケーションを問わず、全てのアプリケーションに対してシングルサインオンが実現されています。

DM担当のY氏は、このシングルサインオンシステムをiMedidataと接続できないかIT担当部門のT氏に相談。T氏とMedidataの技術者で検証、確認を行った結果、Y氏の発案からわずか3カ月でA社シングルサインオン対象アプリの一角にiMedidataが加えられることになりました。これまで、A社のセキュリティポリシーとiMedidataのパスワード管理ルールが合わないことに頭を悩ませていたY氏でしたが、連携後はA社のセキュリティポリシーに基づいてiMedidataへのアクセスも可能になったこと、DM部門および開発部門の各メンバーが管理しなくてもいいIDとパスワードを一元管理できるようになったことで、大変満足いただいております。

メディデータについて

メディデータ・ソリューションズはライフサイエンス業界において、クラウドベースの先進的なアプリケーションと高度なデータ分析によって臨床開発に変革をもたらすグローバル企業です。Medidata Clinical Cloud®は有望な治療法の臨床試験設計および計画から実施、管理、報告に至るまでの生産性と品質の向上を可能にします。メディデータの顧客には世界トップ25社の90パーセント以上が含まれるほか、革新的なバイオテクノロジー企業や医療機器・診断企業、臨床研究中核病院やCRO(医薬品開発業務受託機関)などが名を連ねています。